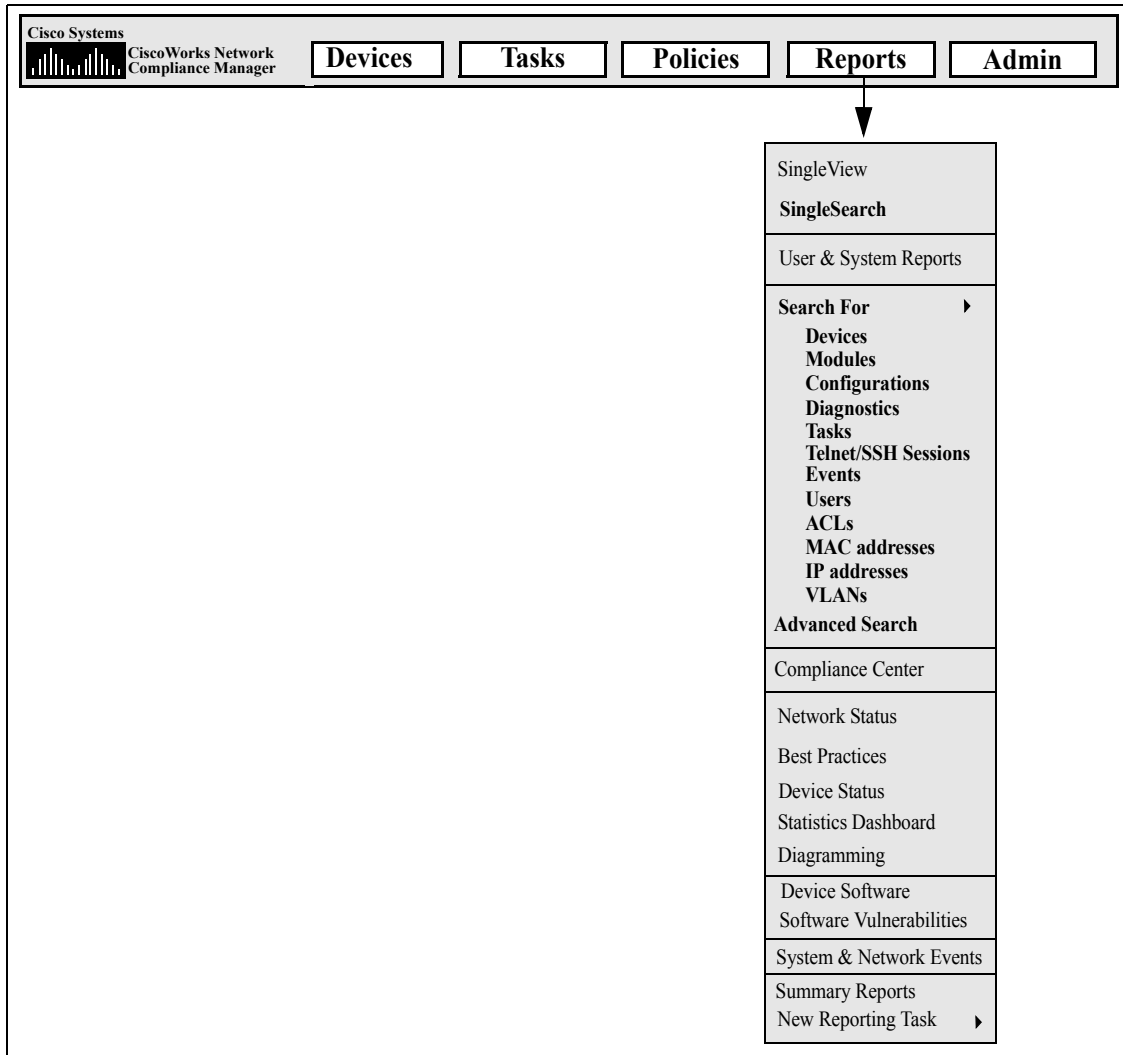


第 11 章：検索の実行

次の表を使用すると、情報をすぐに見つけることができます。

検索	参照先
デバイスの検索	デバイスの検索 (P.363)
モジュールの検索	モジュールの検索 (P.369)
設定の検索	設定の検索 (P.372)
診断の検索	診断の検索 (P.376)
タスクの検索	タスクの検索 (P.380)
セッションの検索	セッションの検索 (P.386)
イベントの検索	イベントの検索 (P.390)
イベントの説明	イベントの説明 (P.393)
ユーザの検索	ユーザの検索 (P.398)
ACL の検索	ACL の検索 (P.401)
MAC アドレスの検索	MAC アドレスの検索 (P.405)
IP アドレスの検索	IP アドレスの検索 (P.409)
VLAN の検索	VLAN の検索 (P.413)
SingleSearch	SingleSearch (P.415)
Advanced Search	Advanced Search (P.418)

検索ページへのナビゲート



デバイスの検索

デバイスの検索では、検索基準と演算子を組み合わせてデバイスを検索できます。検索基準はすべてブール演算子の AND/OR で結合され、結果はすべての基準と一致したものになります。

デバイスを検索するには、メニューバーの Reports の下で、Search For を選択して Devices をクリックします。Search For Devices ページが開きます。

(注) 検索基準を入力している場合、検索を実行する前に別のページに移動すると、ユーザの設定は失われます。

検索基準を入力して Search ボタンをクリックすると、指定したすべての検索基準を満たしているデバイスのリストが Device Search Results ページに表示されます。詳細については、P.367 の「[Device Search Results ページのフィールド](#)」を参照してください。

Search For Devices ページのフィールド

フィールド	説明 / アクション
チェックボックス	左側のチェックボックスを使用して、Device Search Results ページに含める情報を選択します。
Host Name	演算子を選択し、ホスト名を入力します。演算子には、次のものがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • Contains • Does not contain • Matches • Equals • Does not equal <p>ワイルドカード文字が使用可能です。? はその位置に入る任意の 1 文字を表し、* はその位置に入る任意の文字列を表します。たとえば、usa-ny-ny-*、10.0.*.2、および ?jones などがあります (注: ワイルドカードは、「equals」および「does not equal」演算子と一緒に使用できません)。</p>
Device IP	演算子を選択し、デバイスの IP アドレスを入力します。
Secondary IP Address	演算子を選択し、デバイスのセカンダリ IP アドレスを入力します。
Device Vendor	演算子を選択し、デバイスを製造したベンダーの名前を入力します。
Device Model	演算子を選択し、デバイスのモデル識別子を入力します。

フィールド	説明 / アクション
Device Type	スクロールダウンメニューから、ネットワークデバイスのタイプ（ルータ、スイッチ、ファイアウォール、VPN、DialUp、DSL_ISDN、ロードバランサなど）を選択します。
Device Status	デバイスに対して、次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • Any（デフォルト） • Active • Inactive（非アクティブなデバイスは、NCMによるアクティブな管理の対象にはなりません）
Driver Name	スクロールダウンメニューから、デバイスに関連付けられた1つ以上のドライバを選択します。複数のドライバを選択するには、最初のドライバをクリックした後、Ctrl キーを押しながらクリックして追加のドライバを選択します。
Domain Name	演算子を選択し、ドメイン名を入力します。
Policy Compliance	デバイスに対して、次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • Any（デフォルト） • Device in compliance • Device not in compliance • Device not in compliance with rule of at least Medium importance。Critical、High、Medium、Low、または Informational のいずれかを選択できます。このオプションでは、指定した重大度を超える設定規則に違反したデバイスだけに検索対象のデバイスを制限することができます（設定ポリシー規則の重大度については、P.316 の「New Configuration Rule ページのフィールド」を参照してください）。 • Device has no applicable policy
Access Methods	スクロールダウンメニューから、次のアクセス方式を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • Telnet • SSH • SNMP • SCP • FTP • TFTP
Device Location	演算子を選択し、デバイスのロケーションを入力します。
Serial Number	演算子を選択し、デバイスのシリアル番号を入力します。

フィールド	説明 / アクション
Asset Tag	演算子を選択し、デバイスの資産タグの情報を入力します。
Device Software Version	演算子を選択し、デバイス上で実行されているオペレーティングシステムのバージョン番号を入力します。
Device Firmware Version	演算子を選択し、デバイス上で実行されているファームウェアのバージョン番号を入力します。
Comments	演算子を選択し、デバイスに関するコメントの固有部分を入力します。
Free Ports	演算子 (equals、is less than、または is greater than) を選択し、空きポート数を入力します。パーセンテージまたはポートの絶対数のいずれかを入力できます。
Total Ports	演算子 (equals、is less than、または is greater than) を選択し、デバイス上の合計ポート数を入力します。
Ports In Use	演算子 (equals、is less than、または is greater than) を選択し、使用中のポート数を入力します。パーセンテージまたはポートの絶対数のいずれかを入力できます。
System Memory	演算子 (equals、is less than、または is greater than) を選択し、デバイス上の RAM の合計容量 (MB) を入力します。
Configuration Text	<p>演算子 (contains または does not contain) を選択し、現在のデバイス設定の固有部分を入力します。ブール演算子の AND/OR を選択し、現在のデバイス設定の追加部分を入力して、より複雑な検索を行うことができます。</p> <p>検索演算子が「contains」の場合は、「Show <#> context lines around the matched line when displaying Current Configuration」フィールドに値を入力できます。結果ページで、検索テキストの上下それぞれに最大 5 行を表示することができます。デフォルト値は 3 です (注: この機能を使用する場合、大量の結果がロードされると、パフォーマンスが著しく低下することがあります)。</p>
Different Startup/Running	オンの場合、スタートアップ コンフィギュレーションと実行コンフィギュレーションとが異なっているデバイスが検索されます。

フィールド	説明 / アクション
Last Changed Time	<p>次の演算子を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Since または Until • Anytime、Customize (カレンダーが開きます)、Now、または 1 hour ago to 1 year ago <p>注： カレンダー アイコンをクリックするとカレンダーが開き、日時を選択できるようになります。</p>
Create Date	<p>次の演算子を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Since または Until • Anytime、Customize (カレンダーが開きます)、Now、または 1 hour ago to 1 year ago <p>注： カレンダー アイコンをクリックするとカレンダーが開き、日時を選択できるようになります。</p>
Device belongs to	<p>ドロップダウン メニューから次のいずれかの演算子を選択し、1 つ以上のデバイス グループを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Any of selected groups (デフォルト) • All of selected groups • None of selected groups <p>注： 複数のデバイス グループを選択または選択解除するには、Shift キーを押しながらクリックします。</p>
Site	<p>検索結果を特定のサイト内のデバイスに制限するには、そのサイトを選択します。初期設定では、デフォルトのサイトにはインベントリ全体が含まれています (注： このフィールドが表示されるのは、サイトが 1 つ以上設定されている場合だけです。サイトの設定については、P.146 の「制限されたデバイス ビュー」 を参照してください)。</p>
Device Custom Data	<p>演算子を選択し、リスト内のカスタム フィールドのいずれかに含まれていると考えられる固有のテキストを入力します (注： このセクションは、カスタム フィールドがない場合には表示されません)。</p>

Search ボタンをクリックすると、指定したすべての検索基準を満たしているデバイスのリストが Device Search Results ページに表示されます。詳細については、[P.367 の「Device Search Results ページのフィールド」](#) を参照してください。

Device Search Results ページのフィールド

Device Search Results ページの表示内容は、Search For Devices ページで選択した検索基準によって異なります。検索基準については、P.363 の「[Search For Devices ページのフィールド](#)」を参照してください。次の表は、Device Search Results ページで使用可能なオプションについて説明しています。

オプション	説明 / アクション
Modify this search リンク	Search For Devices ページに戻ります。このページでは、検索基準を編集して、検索を再度実行することができます。
View Search Criteria リンク	Search Criteria 情報までスクロールダウンします。
チェックボックス	<p>左側のチェックボックスを使用すると、デバイスを管理できます。デバイスを選択したら、Actions ドロップダウンメニューをクリックして、次のいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Activate : 選択されたデバイスを管理するように NCM に指示します。 • Deactivate : 選択されたデバイスを管理しないように NCM に指示します。 • Batch Edit Device : Batch Edit Device ページを開きます。このページでは、選択したすべてのデバイスに対してドライバの割り当てと接続方式の設定を一括で行うことができます。 • Delete : 選択されたデバイスを削除します。 • Check Policy Compliance : P.280 の「Check Policy Compliance Task ページのフィールド」を参照してください。 • Configure Syslog : P.231 の「Configure Syslog Task ページのフィールド」を参照してください。 • Deploy Passwords : P.234 の「Deploy Passwords Task ページのフィールド」を参照してください。 • Discover Driver : P.239 の「Discover Driver Task ページのフィールド」を参照してください。 • Reload Device : P.242 の「Reload Device Task ページのフィールド」を参照してください。 <p>隣接する Select ドロップダウンメニューを使用すると、すべてのデバイスを選択または選択解除できます。</p>

オプション	説明 / アクション
Actions	<p>Device Search Results テーブル内の各エントリに対して、次のアクションを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• Edit Device : Edit Device ページが開きます。このページでは、このデバイスに関する情報を編集できます。• Telnet : Telnet ウィンドウが開きます。このウィンドウでは、Telnet コマンドを入力できます。• SSH : SSH ウィンドウが開きます。このウィンドウでは、このデバイスに対する SSH コマンドを入力できます。• View Config : Current Configuration ページが開きます。このページでは、選択した設定に対してコメントを編集および追加することができます。修正した設定をこのページから展開することもできます。
Search Criteria	<p>検索で使用する検索基準が表示されます。次の作業を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• Save result devices as a new device group : 新しいグループの名前を入力し、Create Group をクリックします。• Add result devices to existing device group : ドロップダウンメニューからグループを選択し、Add をクリックします。• Save the search as a user report : ユーザ レポートの名前を入力し、Save をクリックします。ユーザ レポートは、User & System Reports ページから表示できます。• Email Search Result : 検索結果を送信する電子メール アドレスを入力し、Send をクリックします。複数のアドレスは、必ずカンマで区切ってください。• View Search Result as a CSV file : 検索結果を CSV 形式で開きます。この場合、Excel (Windows プラットフォーム) 、Star Office、または Gnumeric (Unix プラットフォーム) が使用されます。

モジュールの検索

モジュールの検索を使用して、NCM データベースでカード、ブレード、またはデバイスにインストールされているモジュールを検索できます。

モジュールを検索するには、メニューバーの Reports の下で、Search For を選択して Modules をクリックします。Search For Modules ページが開きます。検索基準を入力して Search ボタンをクリックすると、指定したすべての検索基準を満たしているモジュールのリストが Module Search Results ページに表示されます。詳細については、P.371 の「[Module Search Results ページのフィールド](#)」を参照してください。

(注) 検索基準を入力している場合、検索を実行する前に別のページに移動すると、ユーザの設定は失われます。

Search For Modules ページのフィールド

フィールド	説明 / アクション
チェックボックス	左側のチェックボックスを使用すると、選択した情報だけが Module Search Results ページに表示されるようにカスタマイズできます。
Host Name	<p>演算子を選択し、ホスト名を入力します。演算子には、次のものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Contains • Does not contain • Matches • Equals • Does not equal <p>ワイルドカード文字が使用可能です。? はその位置に入る任意の 1 文字を表し、* はその位置に入る任意の文字列を表します。たとえば、usa-ny-ny-*、10.0.*.2、および ?jones などがあります (注: ワイルドカードは、「equals」および「does not equal」演算子と一緒に使用できません)。</p>
Device IP	演算子を選択し、デバイスの IP アドレスを入力します。
Slot	演算子を選択し、モジュールがインストールされているデバイス上のスロットを入力します。
Description	演算子を選択し、モジュールの説明の固有部分を入力します。

フィールド	説明 / アクション
Model	<p>演算子を選択し、モジュールのモデルを入力します。演算子には、次のものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Contains • Does not contain • Matches • Equals • Does not equal <p>ワイルドカード文字が使用可能です。? はその位置に入る任意の 1 文字を表し、* はその位置に入る任意の文字列を表します。たとえば、usa-ny-ny-*, 10.0.*.2、および ?jones などがあります (注: ワイルドカードは、「equals」および「does not equal」演算子と一緒に使用できません)。</p>
Serial	演算子を選択し、モジュールのシリアル番号を入力します。
Memory	演算子を選択し、モジュールの RAM の合計容量 (MB) を入力します。
Firmware Version	演算子を選択し、モジュールにロードされているファームウェアのバージョン番号を入力します。
Hardware Revision	演算子を選択し、モジュールのハードウェア リビジョン識別子の部分を入力します。
Comments	演算子を選択し、モジュールのコメントの部分を入力します。
Device belongs to	<p>ドロップダウンメニューから次のいずれかの演算子を選択し、1 つ以上のデバイス グループを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Any of selected groups (デフォルト) • All of selected groups • None of selected groups <p>注: 複数のデバイス グループを選択または選択解除するには、Shift キーを押しながらかlickします。</p>
Site	<p>検索結果を特定のサイト内のデバイスに制限するには、そのサイトを選択します。初期設定では、デフォルトのサイトにはインベントリ全体が含まれています (注: このフィールドが表示されるのは、サイトが 1 つ以上設定されている場合だけです。サイトの設定については、P.146 の「制限されたデバイスビュー」を参照してください)。</p>
Module Custom Data	<p>演算子を選択し、リスト内のカスタム フィールドのいずれかに含まれる固有のテキストを入力します (注: このセクションは、このカードまたはモジュールにカスタム フィールドが定義されていない場合には表示されません)。</p>

Module Search Results ページのフィールド

Module Search Results ページの表示内容は、Search For Module ページで選択した検索基準によって異なります。詳細については、P.369 の「Search For Modules ページのフィールド」を参照してください。次の表は、Module Search Results ページで使用可能なオプションについて説明しています。

オプション	説明 / アクション
Modify this search リンク	Search For Module ページに戻ります。このページでは、検索基準を編集して、検索を再度実行することができます。
View Search Criteria リンク	Search Criteria 情報までスクロールダウンします。
Actions	Module Search Results テーブル内の各エントリに対して、次のアクションを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • Edit Module : Edit Blade/Module Detail ページが開きます。このページでは、このモジュールに関する情報を編集できます。 • View Module : Blade/Module Detail ページが開きます。このページでは、モジュールの詳細を表示できます。
Search Criteria	検索で使用する検索基準が表示されます。次の作業を実行できます。 <ul style="list-style-type: none"> • Save result devices as a new device group : 新しいグループの名前を入力し、Create Group をクリックします。 • Add result devices to existing device group : ドロップダウンメニューからグループを選択し、Add をクリックします。 • Save the search as a user report : ユーザ レポートの名前を入力し、Save をクリックします。ユーザ レポートは、User & System Reports ページから表示できます。 • Email Search Result : 検索結果を送信する電子メール アドレスを入力し、Send をクリックします。複数のアドレスは、必ずカンマで区切ってください。 • View Search Result as a CSV file : 検索結果を CSV 形式で開きます。この場合、Excel (Windows プラットフォーム)、Star Office、または Gnumeric (Unix プラットフォーム) が使用されます。

設定の検索

設定の検索では、検索基準と演算子を組み合わせて設定ファイルを検索できます。検索基準はすべてブール演算子の AND/OR で結合され、結果はすべての基準と一致したものになります。

設定ファイルを検索するには、メニューバーの Reports の下で、Search For を選択して Configurations をクリックします。

(注) 検索基準を入力している場合、検索を実行する前に別のページに移動すると、ユーザの設定は失われます。

検索基準を入力して Search ボタンをクリックすると、指定したすべての検索基準を満たしている設定のリストが Configuration Search Results ページに表示されます。詳細については、[P.374 の「Configuration Search Results ページのフィールド」](#)を参照してください。

Search For Configuration ページのフィールド

フィールド	説明 / アクション
チェックボックス	左側のチェックボックスを使用すると、選択した情報だけが Configuration Search Results ページに表示されるようにカスタマイズできます。
Host Name	演算子を選択し、デバイスのホスト名を入力します。演算子には、次のものがあります。 <ul style="list-style-type: none">• Contains• Does not contain• Matches• Equals• Does not equal ワイルドカード文字が使用可能です。? はその位置に入る任意の 1 文字を表し、* はその位置に入る任意の文字列を表します。たとえば、usa-ny-ny-*、10.0.*.2、および ?jones などがあります (注: ワイルドカードは、「equals」および「does not equal」演算子と一緒に使用できません)。
Device IP	演算子を選択し、デバイスの IP アドレスを入力します。

フィールド	説明 / アクション
Date	<p>次の演算子を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Since または Until • Anytime、Customize (カレンダーが開きます)、Now、または 1 hour ago to 1 year ago <p>注: カレンダー アイコンをクリックするとカレンダーが開き、日時を選択できるようになります。</p>
Changed By	<p>演算子を選択し、デバイスの設定を変更した可能性があるユーザのログイン名を入力します。</p>
Device Status	<p>デバイスに対して、次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Any (デフォルト) • Active • Inactive (非アクティブなデバイスは、NCM によるアクティブな管理の対象にはなりません)
Comments	<p>演算子 (contains または does not contain) を選択し、検索するコメントテキストを入力します。この操作により、Device Configuration Detail ページの Configuration Comment ボックスに表示されるテキストだけが検索されます。</p>
Configuration Text	<p>演算子 (contains または does not contain) を選択し、現在のデバイス設定ファイルの固有部分を入力します。ブール演算子の AND/OR を選択し、現在のデバイス設定ファイルの追加部分を入力し、より複雑な検索を行うことができます。</p> <p>検索演算子が「contains」の場合は、「Show <#> context lines around the matched line when displaying Current Configuration」フィールドに値を入力できます。結果ページで、検索テキストの上下それぞれに最大 5 行を表示することができます。デフォルト値は 3 です (注: この機能を使用する場合、大量の結果がロードされると、パフォーマンスが著しく低下することがあります)。</p> <p>注: 過去の設定は検索されません。</p>
Search Scope	<p>オンの場合、現在の設定だけが検索されます。</p>
Different Startup/Running	<p>オンの場合、スタートアップ コンフィギュレーションと実行コンフィギュレーションとが異なっているデバイスが検索されます。</p>

フィールド	説明 / アクション
Device belongs to	<p>ドロップダウンメニューから次のいずれかの演算子を選択し、1つ以上のデバイスグループを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Any of selected groups (デフォルト) • All of selected groups • None of selected groups <p>注: 複数のデバイスグループを選択または選択解除するには、Shift キーを押しながらクリックします。</p>
Site	<p>検索結果を特定のサイト内のデバイスに制限するには、そのサイトを選択します。初期設定では、デフォルトのサイトにはインベントリ全体が含まれています (注: このフィールドが表示されるのは、サイトが1つ以上設定されている場合だけです。サイトの設定については、P.146の「制限されたデバイスビュー」を参照してください)。</p>
Configuration Custom Data	<p>演算子を選択し、リスト内のカスタムフィールドのいずれかに含まれていると考えられる固有のテキストを入力します (注: このセクションは、カスタムフィールドがない場合には表示されません)。</p>

Configuration Search Results ページのフィールド

Configuration Search Results ページの表示内容は、Search For Configuration ページで選択した検索基準によって異なります。詳細については、[P.372](#)の「[Search For Configuration ページのフィールド](#)」を参照してください。次の表は、Configuration Search Results ページで使用可能なオプションについて説明しています。

フィールド	説明 / アクション
Modify this search リンク	Search For Configuration ページに戻ります。このページでは、検索基準を編集して、検索を再度実行することができます。
View Search Criteria リンク	Search Criteria 情報までスクロールダウンします。

フィールド	説明 / アクション
チェックボックス	<p>左側のチェックボックスを使用すると、設定を比較したり、NCM データベースから設定を削除したりすることができます。設定を選択したら、Actions ドロップダウンメニューをクリックして、次のいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Compare : Compare Device Configurations ページが開きます。このページでは、2 つの設定を比較できます。見やすいように、相違点は強調表示されます。設定をこのページから展開することもできます。 • Delete : 選択された設定を NCM データベースから削除します。
Actions	<p>隣接する Select ドロップダウンメニューを使用すると、すべてのデバイスを選択または選択解除できます。</p> <p>Configuration Search Results テーブル内の各エントリに対して、次のアクションを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Compare to Previous : Compare Device Configurations ページが開きます。このページでは、この設定と前の設定を並べて表示できます。読み取りやすいように、相違点は異なる色で強調表示されます。 • View Config : Device Configuration Detail ページが開きます。このページでは、選択した設定に対してコメントを編集および追加することができます。選択した設定をこのページから展開することもできます。 • Diagnostics : Diagnostics ページが開きます。このページでは、この設定の診断情報を表示できます。
Search Criteria	<p>検索で使用する検索基準が表示されます。次の作業を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Save result devices as a new device group : 新しいグループの名前を入力し、Create Group をクリックします。 • Add result devices to existing device group : ドロップダウンメニューからグループを選択し、Add をクリックします。 • Save the search as a user report : ユーザ レポートの名前を入力し、Save をクリックします。ユーザ レポートは、User & System Reports ページから表示できます。 • Email Search Result : 検索結果を送信する電子メール アドレスを入力し、Send をクリックします。複数のアドレスは、必ずカンマで区切ってください。 • View Search Result as a CSV file : 検索結果を CSV 形式で開きます。この場合、Excel (Windows プラットフォーム)、Star Office、または Gnumeric (Unix プラットフォーム) が使用されます。

診断の検索

診断の検索では、定義した検索基準に基づいて、デバイス診断情報にアクセスできます。検索結果は、すべての検索基準を満たしています。診断ごとに提供される情報の種類は、デバイス固有のものです。

診断を検索するには、メニューバーの Reports の下で、Search For を選択して Diagnostics をクリックします。Search For Diagnostics ページが開きます。

(注) 検索基準を入力している場合、検索を実行する前に別のページに移動すると、ユーザの設定は失われます。

検索基準を入力して Search ボタンをクリックすると、指定したすべての検索基準を満たしている診断のリストが Diagnostics Search Results ページに表示されます。詳細については、P.378 の「[Diagnostic Search Results ページのフィールド](#)」を参照してください。

Search For Diagnostics ページのフィールド

フィールド	説明 / アクション
チェックボックス	左側のチェックボックスを使用すると、選択した情報だけが Diagnostics Search Results ページに表示されるようにカスタマイズできます。
Host Name	演算子を選択し、デバイスのホスト名を入力します。演算子には、次のものがあります。 <ul style="list-style-type: none">• Contains• Does not contain• Matches• Equals• Does not equal ワイルドカード文字が使用可能です。? はその位置に入る任意の 1 文字を表し、* はその位置に入る任意の文字列を表します。たとえば、usa-ny-ny-*、10.0.*.2、および ?jones などがあります (注: ワイルドカードは、「equals」および「does not equal」演算子と一緒に使用できません)。
Device IP	演算子を選択し、デバイスの IP アドレスを入力します。

フィールド	説明 / アクション
Date	<p>次の演算子を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Since または Until • Anytime、Customize (カレンダーが開きます)、Now、または 1 hour ago to 1 year ago <p>注： カレンダー アイコンをクリックするとカレンダーが開き、日時を選択できるようになります。</p>
Diagnostic Type	<p>スクロールダウン メニューから、検索する診断データのタイプを選択します。複数のタイプを選択または選択解除するには、Ctrl キーを押しながらクリックします。診断タイプには、次のものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Hardware Information • ICMP Test • Memory Troubleshooting • CWNCM Detect Device Boot • CWNCM Device File System • CWNCM Flash Storage Space • CWNCM Interfaces • CWNCM Module Status • CWNCM OSPF Neighbors • CWNCM Routing Table <p>注： 診断の詳細については、P.188 の「View メニュー オプション」を参照してください。</p>
Device Status	<p>デバイスに対して、次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Any (デフォルト) • Active • Inactive (非アクティブなデバイスは、NCM によるアクティブな管理の対象にはなりません)
Diagnostic Text	<p>演算子 (contains または does not contain) を選択し、検索対象にする診断、または検索結果から除外する診断の固有部分を入力します。</p>

フィールド	説明 / アクション
Device belongs to	<p>ドロップダウンメニューから次のいずれかの演算子を選択し、1つ以上のデバイスグループを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Any of selected groups (デフォルト) • All of selected groups • None of selected groups <p>注: 複数のデバイスグループを選択または選択解除するには、Shift キーを押しながらクリックします。</p>
Site	<p>検索結果を特定のサイト内のデバイスに制限するには、そのサイトを選択します。初期設定では、デフォルトのサイトにはインベントリ全体が含まれています (注: このフィールドが表示されるのは、サイトが1つ以上設定されている場合だけです。サイトの設定については、P.146の「制限されたデバイスビュー」を参照してください)。</p>
Diagnostic Custom Data	<p>演算子を選択し、リスト内のカスタムフィールドのいずれかに含まれていると考えられる固有のテキストを入力します (注: このセクションは、カスタムフィールドがない場合には表示されません)。</p>

Diagnostic Search Results ページのフィールド

Diagnostic Search Results ページの表示内容は、Search for Diagnostics ページで選択した検索基準によって異なります。詳細については、[P.376](#)の「**Search For Diagnostics ページのフィールド**」を参照してください。次の表は、Diagnostic Search Results ページで使用可能なオプションについて説明しています。

オプション	説明 / アクション
Modify this search リンク	Search For Diagnostics ページに戻ります。このページでは、検索基準を編集して、検索を再度実行することができます。
View Search Criteria リンク	Search Criteria 情報までスクロールダウンします。
チェックボックス	<p>左側のチェックボックスを使用すると、NCM データベースから診断を削除できます。診断を選択したら、Actions ドロップダウンメニューをクリックして、次の項目をクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Compare : Compare diagnostics ページが開きます。このページでは、同じタイプの2つの診断を比較できます。 • Delete : 選択された設定を NCM データベースから削除します。 <p>隣接する Select ドロップダウンメニューを使用すると、すべての診断を選択または選択解除できます。</p>

オプション	説明 / アクション
Actions	<p data-bbox="571 443 1361 499">Diagnostics Search Results テーブル内の各エントリに対して、次のアクションを選択できます。</p> <ul data-bbox="571 517 1361 589" style="list-style-type: none"><li data-bbox="571 517 1361 544">• View Detail<li data-bbox="571 562 1361 589">• Compare to Previous
Search Criteria	<p data-bbox="571 622 1361 649">検索で使用する検索基準が表示されます。次の作業を実行できます。</p> <ul data-bbox="571 667 1361 1106" style="list-style-type: none"><li data-bbox="571 667 1361 757">• Save the search as a user report : ユーザ レポートの名前を入力し、Save をクリックします。ユーザ レポートは、User & System Reports ページから表示できます。<li data-bbox="571 775 1361 831">• Save result devices as a new device group : 新しいグループの名前を入力し、Create Group をクリックします。<li data-bbox="571 848 1361 904">• Add result devices to existing device group : ドロップダウン メニューからグループを選択し、Add をクリックします。<li data-bbox="571 922 1361 1012">• Email Search Result : 検索結果を送信する電子メール アドレスを入力し、Send をクリックします。複数のアドレスは、必ずカンマで区切ってください。<li data-bbox="571 1030 1361 1106">• View Search Result as a CSV file : 検索結果を CSV 形式で開きます。この場合、Excel (Windows プラットフォーム) 、Star Office、または Gnumeric (Unix プラットフォーム) が使用されます。

タスクの検索

タスクの検索では、ネットワーク上のスケジュールされているタスクを NCM データベースで検索できます。

タスクを検索するには、メニューバーの Reports の下で、Search For を選択して Tasks をクリックします。Search For Tasks ページが開きます。Search ボタンをクリックすると、指定したすべての検索基準を満たしているタスクのリストが Task Search Results ページに表示されます。詳細については、P.384 の「Task Search Results ページのフィールド」を参照してください。

(注) 検索基準を入力している場合、検索を実行する前に別のページに移動すると、ユーザの設定は失われます。

Search For Tasks ページのフィールド

フィールド	説明 / アクション
チェックボックス	左側のチェックボックスを使用すると、選択した情報だけが Tasks Search Results ページに表示されるようにカスタマイズできます。
Task Name	演算子を選択し、タスク名を入力します。演算子には、次のものがあります。 <ul style="list-style-type: none">• Contains• Does not contain• Matches• Equals• Does not equal
Host Name	演算子を選択し、デバイスのホスト名を入力します。ワイルドカード文字が使用可能です。? はその位置に入る任意の 1 文字を表し、* はその位置に入る任意の文字列を表します。たとえば、usa-ny-ny-*、10.0.*.2、および ?jones などがあります (注: ワイルドカードは、「equals」および「does not equal」演算子と一緒に使用できません)。
Scheduled By	演算子を選択し、タスクをスケジュールしたユーザ名を入力します。
Scheduled Date	次の演算子を選択します。 <ul style="list-style-type: none">• Since または Until• Anytime、Customize (カレンダーが開きます)、Now、または 1 hour ago to 1 year ago <p>注: カレンダー アイコンをクリックするとカレンダーが開き、日時を選択できるようになります。</p>

フィールド	説明 / アクション
Task Status	<p data-bbox="539 432 1361 521">スクロールダウン リストから、1 つ以上のステータスを選択します。複数の項目を選択するには、Ctrl キーを押しながらクリックします。使用可能なステータスには、次のものがあります。</p> <ul data-bbox="539 533 667 1046" style="list-style-type: none"><li data-bbox="539 533 639 562">• Pending<li data-bbox="539 577 667 607">• Succeeded<li data-bbox="539 622 624 651">• Failed<li data-bbox="539 667 644 696">• Running<li data-bbox="539 712 632 741">• Paused<li data-bbox="539 757 612 786">• Draft<li data-bbox="539 801 639 831">• Waiting<li data-bbox="539 846 655 875">• Duplicate<li data-bbox="539 891 644 920">• Skipped<li data-bbox="539 936 671 965">• Completed<li data-bbox="539 981 644 1010">• Warning<li data-bbox="539 1025 667 1055">• Requested

フィールド	説明 / アクション
Task Type	<p data-bbox="539 432 1362 521">検索するタスクのタイプを選択します。複数のタスクタイプを選択または選択解除するには、Ctrl キーを押しながらクリックします。タスクタイプには、次のものがあります。</p> <ul data-bbox="539 533 900 1485" style="list-style-type: none">• Check Policy Compliance• Configure Syslog• Data Pruning• Deduplication• Delete ACLs• Deploy Config• Deploy Passwords• Detect Network Devices• Discover Driver• Email Report• Generate Summary Reports• Import• Multi-task Project• Reload Device• Resolve FQDN• Run Command Script• Run Diagnostics• Run External Application• Run ICMP Test• Synchronize Startup and Running• Take Snapshot• Update Device Software
Failure Type	<p data-bbox="539 1512 1362 1601">スクロールダウン リストから、1 つ以上の障害タイプを選択します。複数の項目を選択するには、Ctrl キーを押しながらクリックします。使用可能な障害タイプには、次のものがあります。</p> <ul data-bbox="539 1612 778 1848" style="list-style-type: none">• Unsupported device• Insufficient privileges• Incorrect password• Device unreachable• No password found• Unrecognized device

フィールド	説明 / アクション
Comments	演算子 (contains または does not contain) を選択し、タスクに関するコメントの固有部分を入力します。
Result	<p>演算子 (contains または does not contain) を選択し、検索するタスク結果からの固有のテキストを入力します。</p> <p>このタスク情報を Task Search Results ページに表示するには、Search Results ボックスの Include this column をオンにします。検索演算子が「contains」の場合は、<#> context lines ボックスに値を入力できます。検索テキストの上下それぞれに最大 5 行を表示することができます (注: この機能を使用する場合、大量の結果がロードされると、パフォーマンスが著しく低下することがあります)。</p>
Device IP	演算子を選択し、デバイスの IP アドレスを入力します。
Approve By Date	<p>次の演算子を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Since • Anytime、Customize (カレンダーが開きます)、Now、または 1 hour ago to 1 year ago <p>注: カレンダー アイコンをクリックするとカレンダーが開き、日時を選択できるようになります。</p>
Approval Status	<p>スクロールダウンリストから、1 つ以上の承認ステータスを選択します。オプションには、次のものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Approved • Draft • Not Applicable • Not Approved • Overridden • Waiting Approval
Exclude Child Tasks	オンの場合、子タスクが検索から除外されます。
Device belongs to	スクロールダウンメニューから、1 つ以上のデバイス グループを選択します。注: 複数のデバイス グループを選択 / 選択解除するには、Shift キーを押しながらクリックします。
Site	検索結果を特定のサイト内のデバイスに制限するには、そのサイトを選択します。初期設定では、デフォルトのサイトにはインベントリ全体が含まれています (注: このフィールドが表示されるのは、サイトが 1 つ以上設定されている場合だけです。サイトの設定については、 P.146 の「制限されたデバイス ビュー」 を参照してください)。

Task Search Results ページのフィールド

Tasks Search Results ページの表示内容は、Search for Tasks ページで選択した検索基準によって異なります。詳細については、P.380 の「Search For Tasks ページのフィールド」を参照してください。次の表は、Task Search Results ページで使用可能なオプションについて説明しています。

オプション	説明 / アクション
Modify this search リンク	Search For Tasks ページに戻ります。このページでは、検索基準を編集して、検索を再度実行することができます。
View Search Criteria リンク	Search Criteria 情報までスクロールダウンします。
チェックボックス	<p>左側のチェックボックスを使用して、Task Search Results テーブルからタスクを削除できます。タスクを選択したら、Actions ドロップダウンメニューをクリックして、次の項目をクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Delete : 選択したタスクを削除します。 <p>隣接する Select ドロップダウンメニューを使用すると、すべてのタスクを選択または選択解除できます。</p>
Actions	<p>Tasks Search Results テーブル内の各エントリに対して、次のアクションを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Edit : Edit Task ページが開きます。このページでは、繰り返されるタスクやまだ実行されていないタスクを編集および再実行することができます。このリンクが表示されるのは、タスクが編集可能な場合だけです。 • Delete : タスクを削除します。このリンクが表示されるのは、タスクがまだ実行されていない場合だけです。 • Pause : タスクが一時停止されます。このリンクが表示されるのは、タスクがまだ実行されていない場合だけです。 • Run Now : タスクが実行されます。このリンクが表示されるのは、タスクがまだ実行されていない場合だけです。

オプション	説明 / アクション
Search Criteria	<p>検索で使用する検索基準が表示されます。次の作業を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• Save the search as a user report : ユーザ レポートの名前を入力し、Save をクリックします。ユーザ レポートは、User & System Reports ページから表示できます。• Save result devices as a new device group : 新しいグループの名前を入力し、Create Group をクリックします。• Add result devices to existing device group : ドロップダウン メニューからグループを選択し、Add をクリックします。• Email Search Result : 検索結果を送信する電子メール アドレスを入力し、Send をクリックします。複数のアドレスは、必ずカンマで区切ってください。• View Search Result as a CSV file : 検索結果を CSV 形式で開きます。この場合、Excel (Windows プラットフォーム) 、Star Office、または Gnumeric (Unix プラットフォーム) が使用されます。

セッションの検索

複数のデバイスを同時に変更する場合、NCM のスクリプト実行機能と管理機能が非常に役に立ちます。ただし、スクリプト経験の浅いユーザには、コマンドスクリプトを作成するのは困難です。そのため、NCM の ScriptMaster では、Telnet/SSH プロキシによって記録される Telnet/SSH セッションに基づいて、エラーのないスクリプトを NCM が自動的に生成できるようになっています。

セッションの検索を使用して、Telnet/SSH プロキシセッションを検索できます。また、一致したセッションデータの前後にあるセッションデータを Session Search Results ページに含むように設定して、結果を解釈するためのコンテキストを表示することもできます。

NCM がコマンドだけを保存するか、Telnet/SSH コマンドセッション全体を保存するかを決める Admin Setting があります。詳細については、第 2 章「管理設定の構成」を参照してください。

セッションを検索するには、メニューバーの Reports の下で、Search For を選択して Sessions をクリックします。Search For Sessions ページが開きます。検索基準を入力して Search ボタンをクリックすると、指定したすべての検索基準を満たしている Telnet/SSH セッションのリストが Session Search Results ページに表示されます。詳細については、P.389 の「Session Search Results ページのフィールド」を参照してください。

(注) 検索基準を入力している場合、検索を実行する前に別のページに移動すると、ユーザの設定は失われます。

Search For Sessions ページのフィールド

フィールド	説明 / アクション
Host Name	<p>演算子を選択し、セッションに関連付けられたデバイスのホスト名を入力します。演算子には、次のものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Contains • Does not contain • Matches • Equals • Does not equal <p>ワイルドカード文字が使用可能です。? はその位置に入る任意の 1 文字を表し、* はその位置に入る任意の文字列を表します。たとえば、usa-ny-ny-*、10.0.*.2、および ?jones などがあります (注: ワイルドカードは、「equals」および「does not equal」演算子と一緒に使用できません)。</p>
Device IP	<p>演算子を選択し、セッションに関連付けられたデバイスの IP アドレスを入力します。</p>

フィールド	説明 / アクション
Device Status	<p>デバイスに対して、次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Any (デフォルト) • Active • Inactive (非アクティブなデバイスは、NCM によるアクティブな管理の対象にはなりません)
Created By	<p>演算子を選択し、セッションを作成した可能性があるユーザのログイン名を入力します。</p>
Start Date	<p>次の演算子を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Since • Anytime、Customize (カレンダーが開きます)、Now、または 1 hour ago to 1 year ago <p>注：カレンダー アイコンをクリックするとカレンダーが開き、日時を選択できるようになります。</p>
End Date	<p>次の演算子を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Since • Anytime、Customize (カレンダーが開きます)、Now、または 1 hour ago to 1 year ago <p>注：カレンダー アイコンをクリックするとカレンダーが開き、日時を選択できるようになります。</p>
Status	<p>次のステータス オプションを 1 つ以上選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Failed • Open • Closed
Type	<p>次のタイプ オプションを 1 つ以上選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Any • Telnet • SSH
Session Data	<p>演算子 (contains または does not contain) を選択し、検索するセッションの固有部分を入力します。</p> <p>検索演算子が「contains」の場合は、<#> context lines ボックスに値を入力できます。結果ページで、検索テキストの上下それぞれに最大 5 行を表示することができます (注：この機能を使用する場合、大量の結果がロードされると、パフォーマンスが著しく低下することがあります)。</p>

フィールド	説明 / アクション
Device belongs to	<p>ドロップダウン メニューから次のいずれかの演算子を選択し、1 つ以上のデバイス グループを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none">• Any of selected groups (デフォルト)• All of selected groups• None of selected groups <p>注：複数のデバイス グループを選択または選択解除するには、Shift キーを押しながらクリックします。</p>
Site	<p>検索結果を特定のサイト内のデバイスに制限するには、そのサイトを選択します。初期設定では、デフォルトのサイトにはインベントリ全体が含まれています (注：このフィールドが表示されるのは、サイトが 1 つ以上設定されている場合だけです。サイトの設定については、P.146 の「制限されたデバイス ビュー」を参照してください)。</p>
Session Custom Data	<p>演算子を選択し、リスト内のカスタム フィールドのいずれかに含まれていると考えられる固有のテキストを入力します (注：このセクションは、セッション データにカスタム フィールドが定義されていない場合には表示されません)。</p>

Session Search Results ページのフィールド

Session Search Results ページの表示内容は、Search for Sessions ページで選択した検索基準によって異なります。詳細については、P.386 の「Search For Sessions ページのフィールド」を参照してください。次の表は、Session Search Results ページで使用可能なオプションについて説明しています。

オプション	説明 / アクション
Modify this search リンク	Search For Sessions ページに戻ります。このページでは、検索基準を編集して、検索を再度実行することができます。
View Search Criteria リンク	Search Criteria 情報までスクロール ダウンします。
Actions	<p>Tasks Search Results テーブル内の各エントリに対して、次のアクションを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Host Name : Device Information ページが開きます。このページでは、デバイスとその設定履歴に関する基本情報を表示できます。 • Device IP : Device Information ページが開きます。このページでは、デバイスとその設定履歴に関する基本情報を表示できます。 • View Full Session : Telnet/SSH Session ページが開きます。このページでは、セッションのコマンドとシステム応答を表示できます。このページには Convert to Script リンクが含まれています。このリンクを使用すると、現在のセッションで実行されたコマンドからスクリプトを作成する作業が簡素化されます。また、このセッションで作成された設定へのリンクも含まれています（存在する場合）。 • View Commands Only : Telnet/SSH Session ページが開きます。このページでは、セッションのコマンドだけを表示できます。このページには Convert to Script リンクが含まれています。このリンクを使用すると、現在のセッションで実行されたコマンドからスクリプトを作成する作業が簡素化されます。また、このセッションで作成された設定へのリンクも含まれています（存在する場合）。
Search Criteria	<p>検索で使用する検索基準が表示されます。次の作業を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Save the search as a user report : ユーザ レポートの名前を入力し、Save をクリックします。ユーザ レポートは、User & System Reports ページから表示できます。 • Email Search Result : 検索結果を送信する電子メール アドレスを入力し、Send をクリックします。複数のアドレスは、必ずカンマで区切ってください。 • View Search Result as a CSV file : 検索結果を CSV 形式で開きます。この場合、Excel (Windows プラットフォーム)、Star Office、または Gnumeric (Unix プラットフォーム) が使用されます。タスク結果の詳細をファイルに格納するオプションを使用できます。

イベントの検索

デバイス アクセス障害などのシステム イベントとユーザ イベントを検索できます。NCM イベントの説明については、[P.393](#) の「[イベントの説明](#)」を参照してください。

イベントを検索するには、メニューバーの **Reports** の下で、**Search For** を選択して **Events** をクリックします。**Search For Events** ページが開きます。検索基準を入力して **Search** ボタンをクリックすると、指定したすべての検索基準を満たしているイベントのリストが **Event Search Results** ページに表示されます。詳細については、[P.392](#) の「[Event Search Results ページのフィールド](#)」を参照してください。

(注) 検索基準を入力している場合、検索を実行する前に別のページに移動すると、ユーザの設定は失われます。

Search For Events ページのフィールド

フィールド	説明 / アクション
チェックボックス	左側のチェックボックスを使用すると、選択された情報だけが Events Search Results ページに表示されるようにカスタマイズできます。
Event Date	次の演算子を選択します。 <ul style="list-style-type: none">• Since または Until• Anytime、Customize (カレンダーが開きます)、Now、または 1 hour ago to 1 year ago <p>注：カレンダー アイコンをクリックするとカレンダーが開き、日時を選択できるようになります。</p>
Summary	1つ以上のイベントの名前を選択します。追加のイベントを選択 / 選択解除するには、 Ctrl キーを押しながらクリックします。各イベントの詳細については、 P.393 の「 イベントの説明 」を参照してください。
Added By	演算子を選択し、イベントを作成したユーザのログイン名を入力します。
Importance	次のオプションを1つ以上選択します。 <ul style="list-style-type: none">• Informational：通常は対応する必要がないイベント• Low：時間のあるときに対応すればよいイベント• Medium：適時（通常、72時間以内）に対応する必要があるイベント• High：早急（通常、24時間以内）に対応する必要があるイベント• Critical：即時に対応する必要があるイベント

フィールド	説明 / アクション
Host Name	<p>演算子を選択し、これらのイベントに関連付けられたデバイスのホスト名を入力します。演算子には、次のものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Contains • Does not contain • Matches • Equals • Does not equal <p>ワイルドカード文字が使用可能です。? はその位置に入る任意の 1 文字を表し、* はその位置に入る任意の文字列を表します。たとえば、usa-ny-ny-*、10.0.*.2、および ?jones などがあります（注：ワイルドカードは、「equals」および「does not equal」演算子と一緒に使用できません）。</p>
Device IP	<p>演算子を選択し、これらのイベントに関連付けられたデバイスの IP アドレスを入力します。</p>
Description	<p>演算子（contains または does not contain）を選択し、検索するイベントの固有のテキストを入力します。結果ページにテキストを表示するには、結果ページで検索テキストの上下それぞれに最大 5 行を表示することができます（注：この機能を使用する場合、大量の結果がロードされると、パフォーマンスが著しく低下することがあります）。</p>
Device belongs to	<p>ドロップダウンメニューから次のいずれかの演算子を選択し、1 つ以上のデバイスグループを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Any of selected groups（デフォルト） • All of selected groups • None of selected groups <p>注：複数のデバイスグループを選択または選択解除するには、Shift キーを押しながらクリックします。</p>
Site	<p>検索結果を特定のサイト内のデバイスに制限するには、そのサイトを選択します。初期設定では、デフォルトのサイトにはインベントリ全体が含まれています（注：このフィールドが表示されるのは、サイトが 1 つ以上設定されている場合だけです。サイトの設定については、P.146 の「制限されたデバイスビュー」を参照してください）。</p>

Event Search Results ページのフィールド

Event Search Results ページの表示内容は、Search for Events ページで選択した検索基準によって異なります。詳細については、P.390 の「Search For Events ページのフィールド」を参照してください。次の表は、Event Search Results ページで使用可能なオプションについて説明しています。

フィールド	説明 / アクション
Modify this search リンク	Search For Events ページに戻ります。このページでは、検索基準を編集して、検索を再度実行することができます。
View Search Criteria リンク	Search Criteria 情報までスクロールダウンします。
チェックボックス	各イベントのチェックボックスを使用すると、イベントを削除できます。イベントを選択したら、Actions ドロップダウンメニューをクリックして、次の項目をクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> • Delete : 選択されたイベントを削除します。 隣接する Select ドロップダウンメニューを使用すると、すべてのタスクを選択または選択解除できます。
Actions	Events Search Results テーブル内の各エントリに対して、次のアクションを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • Summary : Event Detail ページが開きます。このページでは、このイベントの詳細な結果を表示できます。 • Host Name : Device Details ページが開きます。このページでは、デバイスとその設定履歴に関する基本情報を表示できます。
Search Criteria	検索で使用する検索基準が表示されます。次の作業を実行できます。 <ul style="list-style-type: none"> • Save result devices as a new device group : 新しいグループの名前を入力し、Create Group をクリックします。 • Add result devices to existing device group : ドロップダウンメニューからグループを選択し、Add をクリックします。 • Save the search as a user report : ユーザレポートの名前を入力し、Save をクリックします。ユーザレポートは、User & System Reports ページから表示できます。 • Email Search Result : 検索結果を送信する電子メールアドレスを入力し、Send をクリックします。複数のアドレスは、必ずカンマで区切ってください。 • View Search Result as a CSV file : 検索結果を CSV 形式で開きます。この場合、Excel (Windows プラットフォーム)、Star Office、または Gnumeric (Unix プラットフォーム) が使用されます。

イベントの説明

次の表では、NCM イベントについて説明しています。イベントは、アルファベット順に示しています。

イベント	説明
Approval Denied	ユーザが承認要求を拒否しました。
Approval Granted	ユーザがタスクを承認しました。
Approval No Longer Required	タスクの承認が不要になりました。
Approval Override	ユーザがタスクの承認を無効にしたため、タスクを承認なしで実行できるようになりました。
Approval Request	ユーザが、実行前に承認を要求するタスクを作成しました。
Approval Task Changed	ユーザが、実行前に承認を要求するタスクを変更しました。
Approval Task Deleted	ユーザが、承認を要求するように指定されたタスクを削除しました。
Approval Task Timeout	タスクが、割り当てられた時間内に承認されませんでした。
Command Authorization Error	ユーザが、使用を許可されていないコマンドを実行しようとしてしました。
Concurrent Telnet/SSH Session Override	ユーザが同時ログインに関する制限を無視しました。このユーザは、別のユーザがすでにログインしているときに、プロキシ経由でデバイスにログインしました。
Configuration Policy Added	ユーザが新しい設定ポリシーを追加しました。
Configuration Policy Changed	ユーザが設定ポリシーを変更しました。
Configuration Policy Non-Compliance	設定変更がポリシー規則に違反しました。
Configuration Policy Pattern Timeout	ポリシー パターンの照合に要する時間が 30 秒を超えました。
Configuration Rule Added	ユーザが新しい設定規則を追加しました。
Configuration Rule Changed	ユーザが設定規則を変更しました。
Device Access Failure	NCM がデバイスにアクセスできません。原因としては、パスワードが間違っているか、ホストへのルートが存在しないことが考えられます。

イベント	説明
Device Added	ユーザがデバイスを追加しました。
Device Booted	デバイスがリブートされました。
Device Command Script Completed Successfully	デバイスのコマンドスクリプトが正常に終了しました。
Device Command Script Failed	デバイスのコマンドスクリプトが失敗しました。
Device Configuration Change	NCM が、スナップショットタスクの実行中に設定変更を検出しました。
Device Configuration Change - No User	NCM が、不明なユーザによる設定変更を検出しました。
Device Configuration Deployment	NCM が設定をデバイスに正常に展開しました。
Device Configuration Deployment Failure	NCM が、設定をデバイスに展開する操作に失敗しました。
Device Data Failure	NCM が、設定または診断の出力をデータベースに保存する操作に失敗しました。
Device Deleted	ユーザがデバイスを完全に削除しました。
Device Diagnostic Changed	診断の結果が、前回の結果と異なります。
Device Diagnostic Completed Successfully	デバイスの診断が正常に終了しました。
Device Diagnostic Failed	デバイスの診断が失敗しました。
Device Edited	ユーザがデバイスの情報を修正しました。
Device Flash Storage Running Low	デバイスのフラッシュストレージの空き容量が不足しつつあります。
Device Inaccessible	デバイスにアクセスできません。
Device Managed	ユーザがデバイスに Active のマークを付けました。
Device Missing From Import	Import タスクが定期的に行われていて、インポートするデバイスのファイルが指定されている場合、前回のインポート時のファイルに含まれていたデバイスが今回のインポート時のファイルに含まれていないときに、このイベントが発生します。
Device Password Change	ユーザがパスワードの変更を展開しました。
Device Password Change Failure	NCM が、デバイスパスワードの変更を展開する操作に失敗しました。

イベント	説明
Device Permissions - Modified	デバイスがグループに追加された後、またはデバイスがグループから削除された後、ユーザがそのデバイスを修正できるように権限が変更されました。
Device Permissions - New Device	新しいデバイスがデバイス グループに追加された後、そのデバイス グループに関連付けられたユーザの権限が変更されました。
Device Reservation Conflict	デバイスの予約で競合が発生しました。
Device Snapshot	NCM がデバイスの設定変更をチェックしました。
Device Software Change	NCM がデバイス上の新しい OS バージョンを検出しました (例 : IOS 11 から IOS 12 へ)。
Device Startup/Running Config Difference	NCM がスタートアップ コンフィギュレーションと実行 コンフィギュレーションとの相違点を検出しました。
Device Unmanaged	ユーザがデバイスに Inactive のマークを付けました。また、インポートされたデバイスが一定期間にわたって到達不能の場合、 Inactive のマークが付けられることがあります。
Email Report Saved	ユーザが電子メールのレポートを保存しました。
External Directory Server Authentication Error	NCM が外部 LDAP 認証サーバに接続できませんでした。
Group Added	ユーザがグループを追加しました。
Group Deleted	ユーザがグループを削除しました。
Group Modified	ユーザがデバイス グループを修正しました。
Last Used Device Password Changed	デバイスにアクセスするために最後に使用されたパスワードが変更されました。
License Almost Exceeded	デバイス数が、ライセンスされたノードの総数の 90% を超えました。
License Almost Expired	ユーザの NCM ライセンスが間もなく期限切れになります (日付ベースのライセンスのみ)。
License Exceeded	デバイス数が、ライセンスされたノードの総数を超えました。NCM では最大 20% まで超過できます。

イベント	説明
License Expired	ユーザのライセンスが期限切れになりました。NCMにはログインできなくなりますが、スケジュールされたスナップショットの取得と変更の記録は継続されます。
Module Added	デバイスにモジュール、ブレード、またはカードが追加されました。
Module Changed	デバイスに取り付けられたモジュール、ブレード、またはカードの属性が変更されました。
Module Removed	デバイスからモジュール、ブレード、またはカードが取り外されました。
Monitor Error	サーバモニタの実行が失敗しました。
Monitor Okay	サーバモニタが正常に実行されました。
Pending Task Deleted	ユーザが、スケジュールされたタスクを実行前に削除しました。
Reserved Device Configuration Changed	ユーザが、予約済みデバイスのデバイス設定を変更しました。
Scheduled for Deploy Configuration Edited	ユーザが、展開するようにスケジュールされた設定を修正しました。
Scheduled for Deploy Password Modified	新しいパスワードが展開された後で、別のパスワード展開タスクがスケジュールされました。このことは、展開された新しいパスワードが、(保留状態のパスワード展開タスクが実行されたときに)再度変更されることを意味します。
Scheduled for Deploy Script Modified	現在は使用されていません。
Server Startup	NCM Management Engine が起動されました。
Session Data Captured	プロキシが、接続セッションをデータベースに保存しました。
Software Update Failed	NCM が、デバイス上の OS ソフトウェアをアップデートする操作に失敗しました。
Software Update Succeeded	NCM が、デバイス上の OS ソフトウェアを正常にアップデートしました。

イベント	説明
Software Vulnerability Detected	ソフトウェア コンプライアンスのコンプライアンス レベルが「Security Risk」に設定されている場合、NCM がデバイスのスナップショットを取得し、「Security Risk」のタグが付いた OS バージョンを検出したときに、このイベントが生成されます。
Summary Reports Generated	ユーザが Summary レポートを生成しました。
Task Completed	タスクが完了しました。
Task Started	タスクが開始しました。
Ticket Created	このイベントは、NCM が Remedy AR System Connector を使用してサードパーティ製チケット システムと対話し、そのサードパーティ製チケット システムでチケットを作成したことを示します。
User Added	ユーザが追加されました。
User Authentication Error	ユーザが NCM へのログイン時に、誤ったパスワードを入力しました。
User Authentication Lockout	ユーザが連続して何度もログインに失敗したため、ロックアウトされました。
User Deleted	ユーザが削除されました。
User Disabled	ユーザ レコードが編集され、ユーザのステータスが Enabled から Disabled に変更されました。
User Enabled	ユーザ レコードが編集され、ユーザのステータスが Disabled から Enabled に変更されました。
User Login	ユーザが NCM にログインしました。
User Logout	ユーザが NCM からログアウトしました。
User Message	ユーザが New Message リンクをクリックして、メッセージを作成しました。
User Permission Changed	ユーザの権限が変更されました。

ユーザの検索

Search for Users ページを使用すると、名、姓、電子メールアドレス、AAA ユーザ名でユーザを検索できます。ユーザを検索するには、メニューバーの Reports の下で、Search For を選択して Users をクリックします。Search For Users ページが開きます。

Search ボタンをクリックすると、指定したすべての検索基準を満たしているユーザのリストが User Search Results ページに表示されます。詳細については、P.400 の「[User Search Results ページ](#)」を参照してください。

Search For Users ページ

フィールド	説明 / アクション
チェックボックス	左側のチェックボックスを使用すると、選択した情報だけが User Search Results ページに表示されるようにカスタマイズできます。
First Name	演算子を選択し、ユーザの名を入力します。演算子には、次のものがあります。 <ul style="list-style-type: none">• Contains• Does not contain• Matches• Equals• Does not equal
Last Name	演算子を選択し、ユーザの姓を入力します。
User Name	演算子を選択し、ユーザのユーザ名を入力します。ワイルドカード文字が使用可能です。? はその位置に入る任意の 1 文字を表し、* はその位置に入る任意の文字列を表します。たとえば、usa-ny-ny-*, 10.0*.2、および ?jones などがあります（注：ワイルドカードは、「equals」および「does not equal」演算子と一緒にには使用できません）。
Email	演算子を選択し、ユーザの電子メールアドレスを入力します。
AAA User Name	演算子を選択し、ユーザの AAA ユーザ名を入力します。
Comments	演算子（contains または does not contain）を選択し、検索するコメントテキストを入力します。

フィールド	説明 / アクション
Member of User Group	<p data-bbox="539 439 1369 499">ユーザが属しているグループを選択します。オプションには、次のものがあります。</p> <ul data-bbox="539 517 815 757" style="list-style-type: none"><li data-bbox="539 517 815 546">• All Users (デフォルト)<li data-bbox="539 557 767 586">• Limited Access User<li data-bbox="539 598 730 627">• Full Access User<li data-bbox="539 638 676 667">• Power User<li data-bbox="539 678 699 707">• Administrator<li data-bbox="539 719 724 748">• Restricted Users

User Search Results ページ

User Search Results ページの表示内容は、Search for Users ページで選択した検索基準によって異なります。詳細については、[P.398 の「Search For Users ページ」](#)を参照してください。

フィールド	説明 / アクション
Modify this search リンク	Search For Events ページに戻ります。このページでは、検索基準を編集して、検索を再度実行することができます。
View Search Criteria リンク	Search Criteria 情報までスクロールダウンします。
User Name	ユーザのログイン名が表示されます。
First Name	ユーザの名が表示されます。
Last Name	ユーザの姓が表示されます。
Email	ユーザの電子メールアドレスが表示されます。
AAA User Name	ユーザの AAA ユーザ名が表示されます。
Member of User Group	ユーザが属しているユーザグループが表示されます。
Actions	<p>Tasks Search Results テーブル内の各エントリに対して、次のアクションを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Edit : My Profile ページが開きます。このページでは、ユーザのプロファイルを編集できます。詳細については、P.219 の「My Profile ページのフィールド」を参照してください。 • Delete : 適切な権限があれば、ユーザを削除できます。権限がない場合、このオプションはグレイアウトされます。 • Permissions : My Permissions ページが開きます。このページでは、ユーザの権限を編集できます。詳細については、P.222 の「My Permissions ページのフィールド」を参照してください。 • Config Changes : Config Search Results ページが開きます。このページでは、設定変更を表示できます。
Search Criteria	<p>検索で使用する検索基準が表示されます。次の作業を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Save the search as a user report : ユーザレポートの名前を入力し、Save をクリックします。ユーザレポートは、User & System Reports ページから表示できます。 • Email Search Result : 検索結果を送信する電子メールアドレスを入力し、Send をクリックします。複数のアドレスは、必ずカンマで区切ってください。

ACL の検索

アクセス コントロール リスト (ACL) とは、ほとんどのデバイスにある設定の一部です。ACL は、ネットワーク トラフィックをフィルタリングするために、ルーティングされたパケットをルータのインターフェイスで受け入れるか、ブロックするかを制御します。通常、ACL は文の集合です。それぞれの文で、IP パケット内のパターンが定義されています。ACL は、多くの場合、ルーティングアップデートの内容を制限する目的や、ネットワーク セキュリティを向上させる目的で使用されます。

NCM はデバイスから設定情報を取得し、その設定から ACL 文を抽出します。次に、NCM はその ACL を、設定に関係なく格納します。その結果、次のことができます。

- デバイス上の現在の ACL を表示し、前の ACL と比較する。
- ACL にコメントを追加する。
- ACL を修正または作成し、デバイスに展開する。

ACL の修正や作成については、[P.581 の「ACL の作成」](#)を参照してください。

ACL を検索するには、メニューバーの Reports の下で、Search For を選択して ACLs をクリックします。Search For ACLs ページが開きます。

Search For ACLs ページのフィールド

フィールド	説明 / アクション
チェックボックス	左側のチェックボックスを使用すると、選択された情報だけが ACL Search Results ページに表示されるようにカスタマイズできます。
Host Name	<p>演算子を選択し、セッションに関連付けられたデバイスのホスト名を入力します。演算子には、次のものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Contains • Does not contain • Matches • Equals • Does not equal <p>ワイルドカード文字が使用可能です。? はその位置に入る任意の 1 文字を表し、* はその位置に入る任意の文字列を表します。たとえば、usa-ny-ny-*、10.0.*.2、および ?jones などがあります (注: ワイルドカードは、「equals」および「does not equal」演算子と一緒に使用できません)。</p>
ACL ID	<p>演算子を選択し、ACL の ID を入力します。ACL ID はデバイス ACL リストに基づいた番号で、ACL ハンドルはユーザによって割り当てられる説明的な名前または値です。デフォルトでは、ユーザが ACL ハンドルを定義しない限り、ACL ID と ACL ハンドルは同一になっています。</p>

フィールド	説明 / アクション
ACL Handle	演算子を選択し、ACL のハンドルを入力します。ACL ハンドルは、ユーザによって割り当てられる説明的な名前または値です。デフォルトでは、ユーザが ACL ハンドルを定義しない限り、ACL ID と ACL ハンドルは同一になっています。
Type	演算子を選択し、「extended」などの ACL のタイプを入力します。ACL タイプは、ドライバに依存します。
Configuration	演算子 (contains または does not contain) を選択し、ACL を定義する設定コマンドを入力します。
Application	演算子 (contains または does not contain) を選択し、ACL を使用しているエンティティを入力します。たとえば、あるインターフェイスに ACL が適用されている場合、そのインターフェイスは ACL のアプリケーションになります。
Search Scope	オンの場合、検索結果は、現在すべてのデバイス上で設定されている ACL に制限されます。オフにすると、検索結果には現在の ACL と過去の ACL の両方が含まれます。
Comments	演算子 (contains または does not contain) を選択し、ACL のコメントを入力します。
Changed by	演算子を選択し、最後に ACL を変更したユーザの名前を入力します。
Last Modified	次の演算子を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • Since または Until • Anytime、Customize (カレンダーが開きます)、Now、または 1 hour ago to 1 year ago <p>注： カレンダー アイコンをクリックするとカレンダーが開き、日時を選択できるようになります。</p>
Device belongs to	ドロップダウン メニューから次のいずれかの演算子を選択し、1 つ以上のデバイス グループを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • Any of selected groups (デフォルト) • All of selected groups • None of selected groups <p>注： 複数のデバイス グループを選択または選択解除するには、Shift キーを押しながらクリックします。</p>
Site	検索結果を特定のサイト内のデバイスに制限するには、そのサイトを選択します。初期設定では、デフォルトのサイトにはインベントリ全体が含まれています (注： このフィールドが表示されるのは、サイトが 1 つ以上設定されている場合だけです。サイトの設定については、 P.146 の「制限されたデバイス ビュー」 を参照してください)。

Search ボタンをクリックすると、指定したすべての検索基準を満たしている ACL のリストが ACL Search Results ページに表示されます。詳細については、P.403 の「ACL Search Results ページのフィールド」を参照してください。

ACL Search Results ページのフィールド

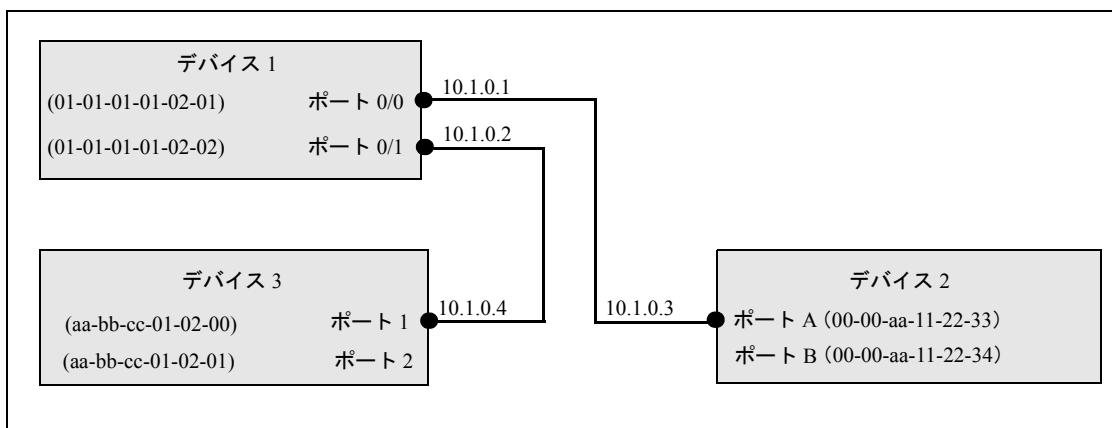
ACLs Search Results ページの表示内容は、Search for ACLs ページで選択した検索基準によって異なります。詳細については、P.401 の「Search For ACLs ページのフィールド」を参照してください。次の表は、ACLs Search Results ページで使用可能なオプションについて説明しています。

オプション	説明 / アクション
Modify this search リンク	Search For ACLs ページに戻ります。このページでは、検索基準を編集して、検索を再度実行することができます。
Search Criteria リンク	<p>検索で使用する検索基準が表示されます。次の作業を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Save the search as a user report : ユーザ レポートの名前を入力し、Save をクリックします。ユーザ レポートは、User & System Reports ページから表示できます。 • Email Search Result : 検索結果を送信する電子メール アドレスを入力し、Send をクリックします。複数のアドレスは、必ずカンマで区切ってください。 • View Search Result as a CSV file : 検索結果を CSV 形式で開きます。この場合、Excel (Windows プラットフォーム)、Star Office、または Gnumeric (Unix プラットフォーム) が使用されます。タスク結果の詳細をファイルに格納するオプションを使用できます。
チェックボックス	<p>各 ACL のチェックボックスを使用すると、2 つの ACL を比較できます。ACL を選択したら、Actions ドロップダウン メニューをクリックして、次の項目をクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Compare : Compare ACL ページが開きます。このページでは、2 つの ACL を比較できます。見やすいように、相違点は強調表示されます。コンテキストの相違点は、フル テキスト表示または UNIX 形式で表示できます。 <p>隣接する Select ドロップダウン メニューを使用すると、すべての ACL を選択または選択解除できます。</p>
Host Name	デバイスのホスト名が表示されます。デバイスをクリックすると、Device Details ページが開きます。このページでは、デバイスとその設定履歴に関する基本情報を表示できます。

オプション	説明 / アクション
ACL ID	ACL ID はデバイス ACL リストに基づいた番号で、ACL ハンドルはユーザによって割り当てられる説明的な名前または値です。デフォルトでは、ユーザが ACL ハンドルを定義しない限り、ACL ID と ACL ハンドルは同一になっています。
ACL Handle	ACL ハンドルは、ユーザによって割り当てられる説明的な名前または値です。デフォルトでは、ユーザが ACL ハンドルを定義しない限り、ACL ID と ACL ハンドルは同一になっています。
ACL Type	ACL のタイプが表示されます。
Last modified	ACL が最後に修正された日時が表示されます。
Actions	ACL Search Results テーブル内の各エントリに対して、次のアクションを選択できます。 <ul style="list-style-type: none">• Edit ACL : Edit ACL ページが開きます。このページでは、ACL を編集できます。詳細については、P.588 の「ACL の削除」を参照してください。• View ACL : View ACL ページが開きます。このページでは、ACL を表示できます。詳細については、P.576 の「ACL の表示」を参照してください。• ACL History : ACL Search Results ページが開きます。詳細については、P.403 の「ACL Search Results ページのフィールド」を参照してください。

MAC アドレスの検索

MAC アドレスとは、デバイス上のポートを識別する固有のアドレスです。MAC アドレスは、BIA (Burned-in Addresses)、ハードウェア アドレス、および物理アドレスとしても知られています。NCM は、デバイス上のポートに割り当てられた MAC アドレスに関する情報や、これらのポートから表示可能な MAC アドレスに関する情報を収集します。次の図は、MAC アドレス、IP アドレス、およびポートの関係を示しています。



MAC アドレスを検索するには、メニューバーの Reports の下で、Search For を選択して MAC addresses をクリックします。Search For MACs ページが開きます。検索基準を入力して Search ボタンをクリックすると、指定したすべての検索基準を満たしている MAC アドレスのリストが MAC Search Results ページに表示されます。詳細については、P.407 の「[MAC Search Results ページのフィールド](#)」を参照してください。

Search For MACs ページのフィールド

フィールド	説明 / アクション
チェックボックス	左側のチェックボックスを使用すると、選択された情報だけが ACL Search Results ページに表示されるようにカスタマイズできます。
Host Name	<p>演算子を選択し、デバイスのホスト名を入力します。演算子には、次のものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Contains • Does not contain • Matches • Equals • Does not equal <p>ワイルドカード文字が使用可能です。? はその位置に入る任意の 1 文字を表し、* はその位置に入る任意の文字列を表します。たとえば、usa-ny-ny-*、10.0.*.2、および ?jones などがあります（注：ワイルドカードは、「equals」および「does not equal」演算子と一緒に使用できません）。</p>
Device IP	演算子を選択し、デバイスの IP アドレスを入力します。
Port Name	演算子を選択し、デバイスのポート名を入力します。ポート名は、デバイスにある実際のポートの名前です。たとえば、Ethernet0/1 と入力します。
MAC Address	演算子を選択し、検索する MAC アドレスのパターンを入力します。
MAC Address Type	<p>次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • All addresses (デフォルト) • Seen from port : デバイス / ポートに接続された MAC アドレス (つまり、デバイス / ポートの外部にあり、デバイス / ポートから見える MAC アドレス タイプ) だけが表示されます。 • Address of port : デバイスの内部にある MAC アドレス (つまり、デバイスのポートに割り当てられた MAC アドレス) だけが表示されます。 <p>注：「Limit search to MAC addresses no longer seen」チェックボックスを使用すると、最新データ キャプチャに表示されない MAC アドレスだけに検索結果を制限することができます。</p>
Search Scope	オンの場合、表示されなくなった MAC アドレスに検索を制限できます。
VLAN	演算子を選択し、ポートの VLAN 名を入力します。VLAN 名は、検索を制限する VLAN の名前です (たとえば、VLAN2 や VLAN3)。

フィールド	説明 / アクション
Device belongs to	<p>ドロップダウンメニューから次のいずれかの演算子を選択し、1つ以上のデバイスグループを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Any of selected groups (デフォルト) • All of selected groups • None of selected groups <p>注：複数のデバイスグループを選択または選択解除するには、Shift キーを押しながらクリックします。</p>
Site	<p>検索結果を特定のサイト内のデバイスに制限するには、そのサイトを選択します。初期設定では、デフォルトのサイトにはインベントリ全体が含まれています（注：このフィールドが表示されるのは、サイトが1つ以上設定されている場合だけです。サイトの設定については、P.146の「制限されたデバイスビュー」を参照してください）。</p>

MAC Search Results ページのフィールド

MAC Search Results ページには、Search For MACs ページで選択した検索基準が表示されます。詳細については、[P.406](#)の「Search For MACs ページのフィールド」を参照してください。

オプション	説明 / アクション
Modify this search リンク	Search For MACs ページに戻ります。このページでは、検索基準を編集して、検索を再度実行することができます。
View Search Criteria リンク	<p>検索で使用する検索基準が表示されます。次の作業を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Save the search as a user report : ユーザレポートの名前を入力し、Save をクリックします。ユーザレポートは、User & System Reports ページから表示できます。 • Email Search Result : 検索結果を送信する電子メールアドレスを入力し、Send をクリックします。複数のアドレスは、必ずカンマで区切ってください。 • View Search Result as a CSV file : 検索結果を CSV 形式で開きます。この場合、Excel (Windows プラットフォーム)、Star Office、または Gnumeric (Unix プラットフォーム) が使用されます。タスク結果の詳細をファイルに格納するオプションを使用できます。
Host Name	この MAC アドレスを参照するデバイスのホスト名が表示されます。
Device IP	Address of Port または Seen from Port などの MAC アドレスが表示されます。

オプション	説明 / アクション
Port Name	この MAC アドレスを参照するデバイスのポート名が表示されます。
Type	MAC アドレスのタイプ（「seen from port」または「address of port」）が表示されます。
VLAN	タイプが「Address of Port」の場合、この MAC アドレスが属する VLAN の名前が表示されます。
Remote Location	「Seen from Port」 MAC アドレスのリモート ロケーションが表示されません。NCM がこの MAC アドレスの送信元を識別できる場合、関連するデバイスとポートへのリンクが表示されます。
First Seen	MAC アドレスが最初に識別された日時が表示されます。
Last Seen	NCM が最後にトポロジ データを収集したときに確認された MAC アドレスが表示されます。現在の日付でない場合は、NCM がネットワーク上で最後に MAC アドレスを確認したときの日付になります。検索ページには、結果を現在のレコードとは別のレコードに制限するフィルタが用意されていることに留意してください。このフィルタを使用すると、何らかの理由で消失したデバイスがあるかどうかをすばやく確認できます。
Actions	各 MAC アドレスに対して、次のアクションを選択できます。 <ul style="list-style-type: none">• View Details : MACs Details ページが開きます。このページでは、Device、Device Port、MAC address、Type、First Seen、および Last Updated の詳細を表示できます。• View IP : この MAC アドレスと相互参照されている IP アドレス詳細ページが開きます。このオプションの対象は、「Seen from Port」レコードだけです。相互参照されるということは、NCM がデータを収集したときに、IP アドレスと MAC アドレスの送信元が同一であると判明したことを意味します。

IP アドレスの検索

IP (インターネットプロトコル) アドレスとは、数字で表されたデバイス固有のアドレスです。通常、IP アドレスはドット付き 10 進形式で表されます。ただし、コンピュータはバイナリ形式で通信を行います。次の例では、同じ IP アドレスをドット付き 10 進形式とバイナリ形式で示しています。

例 : 216.27.61.137 - 11011000.00011011.00111101.10001001

Search For IPs ページのフィールド

フィールド	説明 / アクション
チェックボックス	左側のチェックボックスを使用すると、選択された情報だけが ACL Search Results ページに表示されるようにカスタマイズできます。
Host Name	演算子を選択し、セッションに関連付けられたデバイスのホスト名を入力します。演算子には、次のものがあります。 <ul style="list-style-type: none">• Contains• Does not contain• Matches• Equals• Does not equal ワイルドカード文字が使用可能です。? はその位置に入る任意の 1 文字を表し、* はその位置に入る任意の文字列を表します。たとえば、usa-ny-ny-*、10.0.*.2、および ?jones などがあります (注 : ワイルドカードは、「equals」および「does not equal」演算子と一緒に使用できません)。
Device IP	演算子を選択し、デバイスの IP アドレスを入力します。
Port Name	演算子を選択し、デバイスのポート名を入力します。ポート名は、デバイスにある実際のポートの名前です。たとえば、Ethernet0/1 と入力します。
IP Address	演算子を選択し、検索する IP アドレスのパターンを入力します。

フィールド	説明 / アクション
Address Type	<p>次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none">• All addresses (デフォルト)• Seen from port : デバイス / ポートに接続された MAC アドレス (つまり、デバイス / ポートの外部にあり、デバイス / ポートから見える MAC アドレス タイプ) だけが表示されます。• Address of port : デバイスの内部にある MAC アドレス (つまり、デバイスのポートに割り当てられた MAC アドレス) だけが表示されます。 <p>注 : 「Limit search to IP addresses no longer seen」チェックボックスを使用すると、最新データ キャプチャに表示されない IP アドレスだけに検索結果を制限することができます。</p>
Search Scope	<p>オンの場合、表示されなくなった IP アドレスに検索を制限できます。</p>
VLAN	<p>演算子を選択し、ポートの VLAN 名を入力します。VLAN 名は、検索を制限する VLAN の名前です (たとえば、VLAN2 や VLAN3)。</p>
Device belongs to	<p>ドロップダウン メニューから次のいずれかの演算子を選択し、1 つ以上のデバイス グループを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none">• Any of selected groups (デフォルト)• All of selected groups• None of selected groups <p>注 : 複数のデバイス グループを選択または選択解除するには、Shift キーを押しながらクリックします。</p>
Site	<p>検索結果を特定のサイト内のデバイスに制限するには、そのサイトを選択します。初期設定では、デフォルトのサイトにはインベントリ全体が含まれています (注 : このフィールドが表示されるのは、サイトが 1 つ以上設定されている場合だけです。サイトの設定については、P.146 の「制限されたデバイス ビュー」を参照してください)。</p>

IP Search Results ページのフィールド

IP Search Results ページには、Search For IPs ページで選択した検索基準が表示されます。詳細については、P.409 の「Search For IPs ページのフィールド」を参照してください。

オプション	説明 / アクション
Modify this search リンク	Search For MACs ページに戻ります。このページでは、検索基準を編集して、検索を再度実行することができます。
View Search Criteria リンク	<p>検索で使用する検索基準が表示されます。次の作業を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Save the search as a user report : ユーザ レポートの名前を入力し、Save をクリックします。ユーザ レポートは、User & System Reports ページから表示できます。 • Email Search Result : 検索結果を送信する電子メール アドレスを入力し、Send をクリックします。複数のアドレスは、必ずカンマで区切ってください。 • View Search Result as a CSV file : 検索結果を CSV 形式で開きます。この場合、Excel (Windows プラットフォーム)、Star Office、または Gnumeric (Unix プラットフォーム) が使用されます。タスク結果の詳細をファイルに格納するオプションを使用できます。
Host Name	この IP アドレスを参照するデバイスのホスト名が表示されます。
Port Name	この IP アドレスを参照するデバイスのポート名が表示されます。
Address	Address of Port または Seen from Port などの IP アドレスが表示されます。
Address Type	IP アドレスのタイプ (「Seen from Port」または「Address of Port」) が表示されます。
VLAN	タイプが「Address of Port」の場合、この IP アドレスが属する VLAN の名前が表示されます。
Remote Location	「Seen from Port」IP アドレスのリモート ロケーションが表示されます。NCM がこの IP アドレスの送信元を識別できる場合、関連するデバイスとポートへのリンクが表示されます。
First Seen	IP アドレスが最初に識別された日時が表示されます。

オプション	説明 / アクション
Last Seen	NCM が最後にトポロジデータを収集したときに確認された IP アドレスが表示されます。現在の日付でない場合は、NCM がネットワーク上で最後に IP アドレスを確認したときの日付になります。検索ページには、結果を現在のレコードとは別のレコードに制限するフィルタが用意されていることに留意してください。このフィルタを使用すると、何らかの理由で消失したデバイスがあるかどうかをすばやく確認できます。
Actions	各 MAC アドレスに対して、次のアクションを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="563 728 1375 817">• View Details : IP Address Details ページが開きます。このページでは、Device、Device Port、IP address、Type、First Seen、および Last Updated の詳細を表示できます。<li data-bbox="563 828 1375 987">• View MAC : この IP アドレスと相互参照されている MAC アドレス詳細ページが開きます。このオプションの対象は、「Seen from Port」レコードだけです。相互参照されるということは、NCM がデータを収集したときに、IP アドレスと MAC アドレスの送信元が同一であると判明したことを意味します。

VLAN の検索

VLAN（バーチャル LAN）とは、パケットの単一の宛先として機能するポートの集合です。VLAN は、レイヤ 2（データリンク層）で機能します。NCM は、デバイスに定義されている VLAN に関する情報と、各ポートに割り当てられている VLAN に関する情報を収集します。

Search For VLANs ページのフィールド

フィールド	説明 / アクション
チェックボックス	左側のチェックボックスを使用すると、選択された情報だけが ACL Search Results ページに表示されるようにカスタマイズできます。
Host Name	<p>演算子を選択し、セッションに関連付けられたデバイスのホスト名を入力します。演算子には、次のものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Contains • Does not contain • Matches • Equals • Does not equal <p>ワイルドカード文字が使用可能です。? はその位置に入る任意の 1 文字を表し、* はその位置に入る任意の文字列を表します。たとえば、usa-ny-ny-*、10.0.*.2、および ?jones などがあります（注：ワイルドカードは、「equals」および「does not equal」演算子と一緒に使用できません）。</p>
Device IP	演算子を選択し、デバイスの IP アドレスを入力します。
VLAN	演算子を選択し、ポートの VLAN 名を入力します。VLAN 名は、検索を制限する VLAN の名前です（たとえば、VLAN2 や VLAN3）。
VLAN Description	演算子を選択し、VLAN の説明を入力します。
Device belongs to	<p>ドロップダウンメニューから次のいずれかの演算子を選択し、1 つ以上のデバイスグループを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Any of selected groups（デフォルト） • All of selected groups • None of selected groups <p>注：複数のデバイスグループを選択または選択解除するには、Shift キーを押しながらかlickします。</p>

フィールド	説明 / アクション
Site	検索結果を特定のサイト内のデバイスに制限するには、そのサイトを選択します。初期設定では、デフォルトのサイトにはインベントリ全体が含まれています（注：このフィールドが表示されるのは、サイトが1つ以上設定されている場合だけです。サイトの設定については、P.146の「制限されたデバイスビュー」を参照してください）。

VLAN Search Results ページのフィールド

VLAN Search Results ページには、Search For VLANs ページで選択した検索基準が表示されます。詳細については、P.413の「Search For VLANs ページのフィールド」を参照してください。

オプション	説明 / アクション
Modify this search リンク	Search For MACs ページに戻ります。このページでは、検索基準を編集して、検索を再度実行することができます。
View Search Criteria リンク	検索で使用する検索基準が表示されます。次の作業を実行できます。 <ul style="list-style-type: none"> • Save the search as a user report : ユーザ レポートの名前を入力し、Save をクリックします。ユーザ レポートは、User & System Reports ページから表示できます。 • Email Search Result : 検索結果を送信する電子メール アドレスを入力し、Send をクリックします。複数のアドレスは、必ずカンマで区切ってください。 • View Search Result as a CSV file : 検索結果を CSV 形式で開きます。この場合、Excel (Windows プラットフォーム)、Star Office、または Gnumeric (Unix プラットフォーム) が使用されます。タスク結果の詳細をファイルに格納するオプションを使用できます。
Host Name	この VLAN が割り当てられたデバイスのホスト名が表示されます。
Port Name	この VLAN に属するデバイスのポート名が表示されます。
VLAN	VLAN の名前が表示されます。VLAN 名をクリックすると、Interface Details ページが開きます。
VLAN Description	VLAN の説明が表示されます。
Actions	VLAN ごとに、次のアクションを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • View Details : Details ページが開きます。このページでは、検索に関する詳細と共に Device Detail ページと Interface Detail ページへのリンクが表示されます。

SingleSearch

デバイス変更イベントを検索するには、メニューバーの Reports の下で SingleSearch をクリックします。SingleSearch ページが開きます。Search ボタンをクリックすると、指定したすべての検索基準を満たしているイベントのリストが SingleSearch Results ページに表示されます。P.417 の「[SingleSearch Results ページのフィールド](#)」を参照してください。

SingleSearch ページのフィールド

フィールド	説明 / アクション
チェックボックス	左側のチェックボックスを使用すると、選択された情報だけが Events Search Results ページに表示されるようにカスタマイズできます。
Event Date	次の演算子を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • Since または Until • Anytime、Customize (カレンダーが開きます)、Now、または 1 hour ago to 1 year ago <p>注：カレンダー アイコンをクリックするとカレンダーが開き、日時を選択できるようになります。</p>
Added By	演算子を選択し、イベントを作成したユーザのログイン名を入力します。演算子には、次のものがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • Contains • Does not contain • Matches • Equals • Does not equal
Importance	1 つ以上の重大度レベルを選択します。オプションには、次のものがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • Informational：通常は対応する必要がないイベント • Low：時間のあるときに対応すればよいイベント • Medium：適時（通常、72 時間以内）に対応する必要があるイベント • High：早急（通常、24 時間以内）に対応する必要があるイベント • Critical：即時に対応する必要があるイベント

フィールド	説明 / アクション
Host Name	<p>演算子を選択し、これらのイベントに関連付けられたデバイスのホスト名を入力します。演算子には、次のものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">• Contains• Does not contain• Matches• Equals• Does not equal <p>ワイルドカード文字が使用可能です。? はその位置に入る任意の 1 文字を表し、* はその位置に入る任意の文字列を表します。たとえば、usa-ny-ny-*、10.0.*.2、および ?jones などがあります（注：ワイルドカードは、「equals」および「does not equal」演算子と一緒に使用できません）。</p>
Device IP	<p>演算子（上記を参照）を選択し、これらのイベントに関連付けられたデバイスの IP アドレスを入力します。</p>
Description	<p>演算子（contains または does not contain）を選択し、検索するイベントの固有のテキストを入力します。イベントの説明を表示するとき、一致した行の前後の行を表示するには、Show をオンにし、行数を入力します。デフォルト値は 3 です。</p>
Device Belongs to	<p>演算子（Any of the selected groups、All of the selected groups、または None of the selected groups）を選択し、スクロールダウン リストから 1 つ以上のグループを選択します。</p>
Site	<p>検索結果を特定のサイト内のデバイスに制限するには、そのサイトを選択します。初期設定では、デフォルトのサイトにはインベントリ全体が含まれています（注：このフィールドが表示されるのは、サイトが 1 つ以上設定されている場合だけです。サイトの設定については、P.146 の「制限されたデバイス ビュー」を参照してください）。</p>

SingleSearch Results ページのフィールド

SingleSearch Search Results ページの表示内容は、Search for Events ページで選択した検索基準によって異なります。詳細については、P.415 の「SingleSearch ページのフィールド」を参照してください。次の表は、SingleSearch Search Results ページで使用可能なオプションについて説明しています。

フィールド	説明 / アクション
Modify this search リンク	Search For Events ページに戻ります。このページでは、検索基準を編集して、検索を再度実行することができます。
View Search Criteria リンク	Search Criteria 情報までスクロール ダウンします。
チェックボックス	<p>各イベントのチェックボックスを使用すると、イベントを削除できます。イベントを選択したら、Actions ドロップダウン メニューをクリックして、次の項目をクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Delete : 選択されたイベントを削除します。 <p>隣接する Select ドロップダウン メニューを使用すると、すべてのタスクを選択または選択解除できます。</p>
Search Criteria	<p>検索で使用する検索基準が表示されます。次の作業を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Save result devices as a new device group : 新しいグループの名前を入力し、Create Group をクリックします。 • Add result devices to existing device group : ドロップダウン メニューからグループを選択し、Add をクリックします。 • Save the search as a user report : ユーザ レポートの名前を入力し、Save をクリックします。ユーザ レポートは、User & System Reports ページから表示できます。 • Email Search Result : 検索結果を送信する電子メール アドレスを入力し、Send をクリックします。複数のアドレスは、必ずカンマで区切ってください。 • View Search Result as a CSV file : 検索結果を CSV 形式で開きます。この場合、Excel (Windows プラットフォーム)、Star Office、または Gnumeric (Unix プラットフォーム) が使用されます。

Advanced Search

Advanced Search ページでは、次のことができます。

- ブール式 (and/or) を使用して、検索をフィルタリングする。ブール式に丸カッコを使用すると、検索を絞り込むことができます。
- 1 つ以上の検索基準 (IP address、Domain Name、Policy Compliance など) を使用して、検索を設定する。
- デバイス グループごとに検索をする。
- Advanced Search Results ページの出力をカスタマイズする。

Advanced Search ページを開くには、メニューバーの Reports の下で Advanced Search をクリックします。Search ボタンをクリックすると、指定した検索基準が返されます。

Advanced Search ページのフィールド

フィールド	説明 / アクション
Search For	ドロップダウン メニューから次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none">• Devices• Tasks• Configs• Diagnostics• Modules• Sessions• Events• ACLs

Search Criteria

検索基準を選択するたびに、その検索基準が Search Criteria セクションに表示されます。このセクションでは、Contains、Matches、Equals などの演算子を選択し、検索対象の情報を入力することができます。定義した基準を削除する場合は、検索基準の索引文字の隣にある X をクリックします。

フィールド	説明 / アクション
Add Criteria	<p>ドロップダウンメニューから、1 つ以上の検索基準を選択します。たとえば、次のような検索基準があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Host Name • Device IP • Domain Name • Device Status • Policy Compliance
Boolean Expression	
Expression	<p>デフォルトでは、定義した基準の索引文字は、「and」ブール式と共に表示されます。たとえば、3 つの検索基準を定義した場合、式は <i>A and B and C</i> のようになります。必要に応じて、このブール式を編集できます。Reset Expression ボタンをクリックすると、ブール式がデフォルトにリセットされます（注：ブール演算子は小文字で入力する必要があります。また、定義できる検索基準は最大 10 個です）。</p>
Limit search by device group	
Device belongs to	<p>ドロップダウンメニューから次のいずれかの演算子を選択し、1 つ以上のデバイス グループを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Any of selected groups (デフォルト) • All of selected groups • None of selected groups <p>注：複数のデバイス グループを選択または選択解除するには、Shift キーを押しながらクリックします。デバイス グループを選択しなかった場合、デバイス グループ フィルタは検索時に廃棄されます。</p>
Customize Output	
Select fields to be included in search results	<p>Advanced Search Results ページに含めるフィールドを選択します。複数のフィールドを選択するには、最初のフィールドをクリックした後、Shift キーを押しながら追加のフィールドを選択 / 選択解除します。</p>
Sort results by	<p>ドロップダウンメニューから、検索結果をソートする検索基準を選択します。Ascending (デフォルト) または Descending を指定できます。</p>
Display results in groups of	<p>Advanced Search Results ページに表示する項目数を入力します。デフォルトは 25 です。</p>
Show <#> context lines around the matching line when displaying text fields	<p>Advanced Search Results ページにテキスト フィールドを表示する場合、一致した行の前後に表示する行数を入力します。デフォルトは 3 です。</p>

Advanced Search のサンプル

次の例では、2つのデータセンターを管理しているものとします。1つのデータセンターはニューヨークに、もう1つはカリフォルニアにあります。検索を実行すると、これらのデータセンター以外のタイムゾーンに設定されている Cisco デバイスがすべて通知されます。

1. NCM にログインします。
2. メインメニューバーの Reports の下で、Advanced Search をクリックします。Advanced Search ページが開きます。
3. Search for フィールドで、ドロップダウンメニューから Devices を選択します。
4. Search Criteria フィールドで、ドロップダウンメニューから Driver Name を選択します。
5. NCM が使用しているすべてのシスコ製ドライバを選択します。
6. Add Criteria ドロップダウンメニューから Configuration Text を選択します。
7. ドロップダウンメニューから does not contain を選択し、set timezone PST と入力します。
8. Add Criteria ドロップダウンメニューから Configuration Text を再度選択します。
9. ドロップダウンメニューから does not contain を選択し、set timezone PST と入力します。
10. Boolean Expression フィールドで、読み取るデフォルトの文字列を A and (B or C) に修正します。
11. Search ボタンをクリックします。